

## 野洲市資料提供

提供年月日	令和6年4月30日
担当部課	市民部 協働推進課
担当者	川崎
連絡先電話番号	077-587-6043

### 野洲市市民憲章及び市の花、鳥、木の制定に係る パブリックコメントの結果及び当該制定について

#### 1. 経 過

本年10月に野洲市市制施行20周年を迎えるのに合わせ、未制定であった野洲市市民憲章と市の花鳥木について制定するべく、市長から野洲市まちづくり基本条例推進委員会（以下「委員会」という。）に諮問しました。

委員会からは策定案を市長へ答申され、その案について、令和5年12月22日（金）から令和6年1月26日（金）までの間パブリックコメントを実施しました。

#### 2. パブリックコメントの結果（別添資料参照）

##### ①市民憲章について

- ・意見の提出は1件ありました。いただいたご意見で、特に案を変更する必要はないと考えております。

##### ②市の花鳥木について

- ・意見の提出は309名の方から352件ありました。
- ・市の花については、策定案「マリーゴールド」に対し、「菖蒲（あやめ）」が歴史的にも相応しいとのご意見が300件超ありました。
- ・パブリックコメントの結果について委員会各委員に報告するとともに、特に市の花の制定については、意見の多さから再考に値すること、また、菖蒲が旧中主町の花や地名であることなど、歴史的にも地勢的にも菖蒲への変更について異論はなく相応しいのではないかとのご意見を委員からはいただいております。
- ・委員会答申案、これに対するパブリックコメントの結果、また、パブリックコメント結果に対する各委員のご意見を踏まえまして、花については「菖蒲（あやめ）」に変更することとします。

#### 3. 市民憲章及び市の花、鳥、木の制定

##### ●野洲市市民憲章

- み 水や緑、自然豊かなまちにしましょう
- か 活力ある笑顔の広がるまちにしましょう
- み みんながつながり未来をつむぐまちにしましょう

や やすらぎと安心のあるまちにしましょう  
ま 学び合い共に歩めるまちにしましょう

●市の花「菖蒲（あやめ）」、市の鳥「イソヒヨドリ」、市の木「桜（さくら）」

4. 今後の日程について

令和6年4月25日	議会全員協議会・野洲市HPにて報告
6月1日	告示
6月1日	野洲市広報6月号・HP掲載周知

## 市民憲章および市の花、市の鳥、市の木策定(案) パブリックコメント結果

■ パブリックコメント期間：令和5年12月22日 ～ 令和6年1月26日

■ 提出意見数(人数)352件(309人)

■ 意見内容については原文のまま掲載しています。

## 市民憲章

【提出意見と意見に対する市の考え方】

意見No.	意見内容	意見に対する市の考え方
1	<p>野州市市民憲章(案)について「み・か・み・や・ま」の頭文字で5項目記載ありますが、抽象的な表現もあり、サッと記憶しにくい。市民憲章は、日常的な行動に反映する、市民の誓い、或いは約束事のようなものではないかと思えます。頭文字にとらわれず、覚えやすく簡潔に、例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かで安全安心なまち</li> <li>・多様な交流・連携があるまち</li> <li>・多様性を認め、子供が健全に育つまち</li> <li>・心も体も健康で支えあうまち</li> <li>・市民協働でのまちづくり</li> </ul> <p>【意見者数 1人】</p>	<p>市民憲章においては、市民が親しみを持てるようまた子どもでも覚えやすいように頭文字に「み・か・み・や・ま」を配置したものとなっています。また5項目の表現としては、市民の目指す方向として野州市の最上位計画である「第2次野州市総合計画」における基本方針に添うよう文言を付記しており、市の政策方針に沿って策定しているものです。</p>

## 市の花、市の鳥、市の木

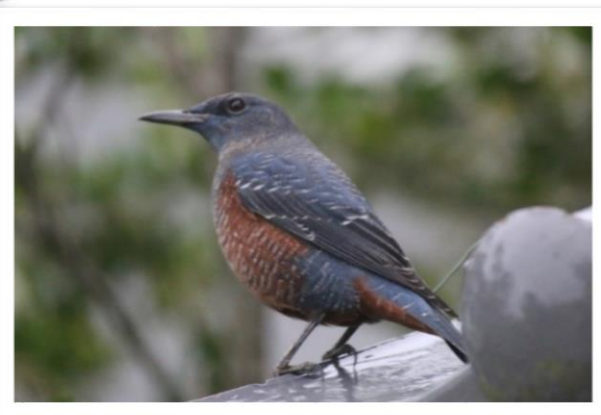
【提出意見と意見に対する市の考え方】

意見No.	意見内容	意見に対する市の考え方
1	<p>市の花について「あやめ」を提案します。</p> <p>提案の理由 野州市には菖蒲という自治会があります。この名称の由来は、中主町史によると一説として、野州市比江の長澤神社の池の洪水により、ここに自生していた菖蒲が琵琶湖まで流されて、湖岸に漂着したことからその地名が付けられたと記されています。また、兵主大社の春の例大祭では、榊にかえてあやめが奉奠されています。マイアミ浜オートキャンプ場にはアイリスパークが設置されています。</p> <p>合併前の中主町では町の花にあやめを制定し、市町村の花にあやめを制定している全国の自治体に呼びかけてあやめサミットが開催された実績があります。</p> <p>以上のような歴史や地域とのつながり、伝統的な継承などを考察してあやめを市の花に制定することを提案します。</p> <p>【意見者数 215人】</p>	<p>野州市の歴史的、文化的背景を鑑み、市の花として「あやめ」を推すご意見が300人を超えておりました。市としましても、まちづくり基本条例推進委員会に諮問し答申をいただき、「マリーゴールド」が市の明るさや活力の象徴となり市民の希望や活気ある未来への期待を込めたものとして選定案とさせていただきますが、多数の方のご意見として承り検討してまいります。</p>
2	<p>現在、市の木や花が選定されようとしています。</p> <p>市の木として桜が候補にあがっていることは、桜緑地や南櫻、北桜などの地名もあり野州市にとってふさわしいので良いと考えます。</p> <p>一方、市の花についてマリーゴールドが候補にあがっていることには賛成できません。野州市にとっても何のかわりもないようなマリーゴールドを市の花にすることには反対します。</p> <p>野州市の花を選定するのであれば、あやめが最適ではないでしょうか。市内には菖蒲(あやめ)という地名もあり各地域に自生しており、比江の長澤神社のあやめについて藤原俊成が和歌を詠むなど野州市とのかかわりも深くさらに旧中主町の花でもあったことなどを考えてもあやめを選定することが最適だと考えます。</p> <p>【意見者数 92人】</p>	

意見 No.	意見内容	意見に対する市の考え方
	<p>～菖蒲の説明～ 歌枕と菖蒲(あやめ)(杜若(かきつばた)) 今から約900年前、宮廷に仕えた藤原俊成(千載和歌集の選者)詠んだ和歌の中に、近江国野洲郡の長澤の地を枕詞(歌枕)として詠んだ歌が何首かあります。 最初に勅撰和歌集である古今集から200年程度経た平安時代の終わりの新古今和歌集の時代の和歌には、全国の名所とその地にちなんだ植物や風景を、歌枕として詠みこまれました。当時の貴族たちにとっては、あやめと言えば長澤というほどに、教養人としては一般的な知識でした。 草津の野路は萩の名所で、やはり歌枕として定着しています。又、「大和物語」の中には、あやめの「根あわせ」のことが記載されています。 あやめは、花はもちろんですが、生命力のある根(球根で増える為)がとても大事で、吉区の占いとしても欠かせないものでした。五月五日の端午の節句には、あやめの花を軒先に差して邪気を払うという風俗も定着しておりました。</p>	<p>※「あやめ」の説明のご意見</p>
3	<p>野洲市内で花と言えば一般的にはツツジが野生でしがつになると綺麗に咲いていますが、以前中主町の時代にあやめがありました。比較的他の地域と重ならないのであやめが良いのではないかと思います。木は野洲市の御上神社のヒメユズリハが他の地域と重なりにくく、現在も大きな大木で生育しています。ヒメユズリハは以前御上神社の近くまで琵琶湖であったと認定出来る木であります。鳥については野洲地域に偏る鳥はあまり知りませんが三上山(近江富士)から辻町、北桜、小篠原にかけてはヤマガラ、ヒヨドリがおります。鳥については野洲市ゆきはたにある山崎動物病院のご主人が全国や東南アジアでその研究を重ねられ、また、永源寺の山奥で数十年かけてイヌワシの研究もされている鳥博士に尋ねるのも一つの方法かと思えます。以上が私の個人的意見です。</p> <p>【意見者数 1人】</p>	<p>【市の花】 意見内容1, 2のとおり</p> <p>【市の木、鳥】 市の木に関わらず、他の地域との重複していないものを選考するものではなく、野洲市に相応しい木を選考するものと考えております。よって現行の案のとおりとします。 市の鳥の選考方法を教示していただきましたが、ご提案は選考過程の段階のことであるかと思われるので、現行案のとおりとします。</p>
4	<p>A:市の花: マリーゴールドを提案されているが、私事で申し訳ありませんが、市内で殆ど見かけていない。またアメリカ大陸からの外来種の様で、野洲市との関わりがよくわからない。野洲市内に実際によく見かける、或いは、何か関連がある花がよいのではないのでしょうか? 私は、野洲市は自然豊かということで、候補の応募に際し、野山などによくある「冬イチゴ」を提案しました。以下応募時の提案: **応募時の提案、花:フユイチゴ 理由① 市内山間部の里山、屋敷の回り、図書館など公共施設の外周辺り、神社林などいたるところで群落がみれる。秋に白い花で晩秋には赤い実がつき、おいしく食べられるため、子供達も味見して喜ぶ。別名:クリスマスチェリー、自然が身近にある事の象徴でもあり、子供たちが里山の自然を愛する心を育むきっかけになる。 理由② 花言葉:真心の愛、未来の予感、尊重 B:市の鳥、イソヒヨドリを提案されていますが、鳴き声は美声かもしれないが、カラスのような雑食系、ゴミをあさることもあるようで、イメージがよくないのでは? また、それほど市内で見かけることはないように思います。この市の鳥も、自然が豊かをPRすることにもなり、候補の応募に際し以下「キジ」を提案しました。 **応募時の提案 鳥:キジ 理由① 野洲川や日野川などの河川敷、堤防、河畔の藪、草原、河辺林、田畑、及び希望が丘などの里山地域でしばしば見かける。市三宅地先の野洲川北流跡自然の森周辺では5月6月ごろには子供のキジ5-6匹を連れた親子連れをよく見かけほほえましい。 理由② 国鳥にもなっているより日本的な野鳥で、野洲市で良く観察できることは素晴らしいことで、自然が豊かであることのPRの一環にもなる。 理由③ 個体数が少ないので、保護しないと、将来野洲市で見れなくなる可能性がある。市の鳥に指定することで市民がキジを保護する後押しになる。 現在の市の提案は野洲市との関連、野洲市をPRするという観点での提案理由がイマイチ、すっきりと受け入れにくいように思います。 素直な感想です。よろしくお祈りします。</p> <p>【意見者 1人】</p>	<p>【市の花】 意見内容1.2のとおり</p> <p>【市の鳥】 「イソヒヨドリ」は野洲駅前によく見かけ、天気のいい日には綺麗な声で鳴く鳥です。特に春から夏にかけて天気のいい日には鳴いている姿をよく見かけます。鳴き声は幸せを感じさせる声でもあり、これからの野洲市の発展に寄与してくれているかのような鳥であると考えていることから現行案のままとします。</p>
5	<p>鳥について「かいつぶり」を提案します。 提案理由 びわこ放送から誕生した「野洲のおっさんかいつぶり」は滋賀県民に広く親しまれ愛されているキャラクターです。7月1日の「びわ湖の日」をPRするためにびわ湖一周行脚の旅を続けて今年で14年目を迎える滋賀県の恒例行事になっています。伴走のスタッフと一緒にびわ湖周辺に落ちているごみ拾いをしながらびわ湖の環境保全にも貢献しています。これだけの知名度と実績からかいつぶりを野洲市の鳥に制定し、野洲市のPRにも活用することを提案します。</p> <p>【意見者数 42人】</p>	<p>市の鳥はこれから野洲市の目指す方向、イメージを表すものであると考えております。 「イソヒヨドリ」は野洲駅前によく見かけるようになり、天気のいい日には綺麗な声で鳴く鳥です。特に春から夏にかけて天気のいい日には鳴いている姿をよく見かけます。鳴き声は幸せを感じさせる声でもあり、これからの野洲市の発展に寄与してくれているかのような鳥であると考えています。</p>

# 野洲市市民憲章

## 市の花、市の鳥、市の木



令和6年6月1日

野洲市 市民部 協働推進課

## 野洲市市民憲章

私たちは共に育み活気あふれるまちづくりを目指します！

み

水や緑、自然豊かなまちにしましょう

〈内容説明〉

豊かな自然環境を守るとともに、地域の特性に合わせた快適な環境を確保し、安全で安心なまちを目指します。

か

活力ある笑顔の広がるまちにしましょう

〈内容説明〉

地域経済を活性化させ、市民生活が充実したまちを目指すとともに各分野を超えた交流や連携により多様な人々の関わりが生まれるまちを目指します。

み

みんながつながり未来をつむぐまちにしましょう

〈内容説明〉

地域全体で親が安心して子育てし、子どもが健全に育つ環境を目指すとともに、すべての市民がお互いを尊重し合い、多様性を認め合いながらともに生きるまちを目指します。

や

やすらぎと安心のあるまちにしましょう

〈内容説明〉

誰もが自身の心と体の健康に関心をもって、互いに支え合い、ともに安心して生活できるまちを目指します。

ま

学び合い共に歩めるまちにしましょう

〈内容説明〉

市民がまちづくりに参加しやすい環境のもと、市民と行政そして事業所等の各主体が協力し、透明かつ効率的な方法で自らのまちづくりを進め、暮らしやすいまちを目指します。

## 市の花・鳥・木

### 花 菖蒲(あやめ)



※野洲市吉川地先アイリスパークにて撮影

#### 〈菖蒲(あやめ)の特徴〉

あやめは、初夏に花を咲かせるアヤメ科の多年草。あやめは「いずれアヤメかカツバタ」の慣用句で知られるように、古くから美しいもの、優れたものの象徴として愛されている花です。

#### 〈選定理由〉

野洲市には菖蒲という地名があります。この名称の由来は、中主町史によると一説として、野洲市比江の長澤神社の池の洪水により、ここに自生していた菖蒲が琵琶湖まで流されて、湖岸に漂着したことからその地名が付けられたと記されています。また、兵主大社の春の例大祭では、榊にかえてあやめが奉奠される等、歴史的背景もあり野洲市の調和を表しています。

### 鳥 イソヒヨドリ

※ヒタキ科に属し、ツグミやコマドリの仲間で、「ヒヨドリ」ではありません。



※野洲市民提供(市内で撮影)

#### 〈イソヒヨドリの特徴〉

全長:約25センチ

季節:留鳥

鳴き声:澄んだ声

色(オス):頭、胸、背、翼、尾まで鮮やかな青、腹はあかさび色に似たオレンジ色

色(メス):全身がやや暗青色を帯びた茶褐色

#### 〈選定理由〉

イソヒヨドリは大都会よりも比較的小さな街に生息していることが知られています。滋賀では冬のみ到来していたイソヒヨドリが、20年程前から定住するようになり、春から夏の天気の良い日には、野洲駅周辺などでその美しい鳴き声を楽しむことができます。自然と共に発展していこうとする野洲市には、この鳥がふさわしいと考えられます。

## 木 桜(さくら)



※野洲市南櫻地先さくら緑地にて撮影

〈桜(さくら)の特徴〉

科・属:バラ科 サクラ属

花言葉:「精神の美」「優雅な女性」

桜(さくら)は卒業から入学の時期に咲く、日本の春の花代表ともいえる樹木です。

〈選定理由〉

日本の伝統的な「木」である桜は、春には市内の公園や道路沿いに咲いておりよく目にすることが出来、人々の目を楽しませてくれるとともに市民に親しまれています。市内には多くの桜の名所が在り「花緑公園」にも多種の桜が植えられており、大山川沿いの「さくら緑地」は滋賀の眺望景観ビューポイント 30 選にも選ばれています。